

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和3年度第4回）議事録

1 日時 令和3年11月30日 午後3時から午後4時17分まで

2 場所 WEB会議

3 出席者

（委員）森吉委員長、上道委員、小野田委員、津江委員、松村委員

（東京都）内藤課長、小熊課長代理、金子課長代理

4 議題

（1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況

（2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○小熊課長代理 定刻になりましたので、ただいまから令和3年度第4回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

私は、会議進行について委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただきます
大気保全課の小熊でございます。よろしくお願いいたします。

議事に入る前に、本日の会議について補足させていただきます。

この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領
第7の規定に基づきまして、公開となります。ただし、議事2の低NO_x・低CO₂小規模
燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますの
で、非公開とさせていただきます。

また、同要領第8の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲
げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、大気保全課長の内藤より一言ご挨拶させていただきたいと思
います。
よろしくお願いいたします。

○内藤課長 大気保全課長の内藤でございます。

今年度はもう4回目の開催ということで、だんだん私の挨拶の話題もなくなってきてしまったんですが、本日は蒸気ボイラーや冷温水発生機等々、9機種についての申請案件がございます。ぜひ皆様の専門的な意見をいただきながらご審議を進めていきたいと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

○小熊課長代理 ありがとうございます。

続いて、ウェブ会議の注意事項を3点申し上げます。

1つ目としまして、資料は情報セキュリティ対策のため、画面には映写できません。別途郵送しておりますので、そちらをご覧ください。

2点目としまして、会議中は音声をミュートにいただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言のほうをお願いいたします。

3番目ですが、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時事務局のほうまでお知らせいただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

それでは、議事に入らせていただきます。

これ以後の進行は、森吉委員長にお願いしたいと思います。

森吉委員長、よろしくお願いいたします。

○森吉委員長 それでは、議事に入らせていただきます。

議事1の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○金子課長代理 東京都環境局大気保全課基準担当、金子と申します。本日もよろしくお願いいたします。

資料1につきましては、公開を予定している資料になりますので、こちらの資料だけ画面共有しながら、ご説明させていただければと思います。資料は、紙資料でも画面でも見やすいほうで見ていただければと思います。

資料1について、最初に、本日の申請の概要を掲載させていただきました。

申請につきまして、蒸気ボイラーのうち水素を燃料とするものが2機種と水素以外のもの6機種ということで、蒸気ボイラーにつきましては計8機種の申請が来ております。温水ボイラー、給湯器、温水発生機については、申請はございません。冷温水発生機につきましては、都市ガスを燃料とするものが1機種の申請が出ております。

内燃機関類のガスヒートポンプ、コージェネレーションユニットにつきましては、申請は

ございませんので、こちら全部で蒸気ボイラー 8、冷温水発生機 1 ということで、計 9 機種、本日申請が来ております。

続いて、低NO_x対策及び効率対策をまとめた資料になっております。

詳細は、後ほど各申請説明資料のほうで、詳細はご説明できればと考えております。

まず、蒸気ボイラーのうち水素を燃料とするものにつきましては、空気と燃料をあらかじめ混合いたします完全予混合及び火炎分割による低温化によりまして、低NO_x化を図っております。

蒸気ボイラーのうち水素以外のガス燃料を燃料とするものにつきましては、燃焼過程を 2 段階に分ける段階燃焼、排ガスを再度燃焼下に置く自己再循環及び火炎分割による低NO_x化を行っております。

冷温水発生機につきましては、先ほどと同じく自己再循環及び火炎分割による低NO_x化を図っております。

詳細は、後ほど申請説明資料でご説明できればと考えております。

資料 3 ページ目を表示させていただきます。

こちらは、高効率対策になっております。

まず、上から蒸気ボイラー、水素を燃料とするものにつきましては、エコマイザーの活用による高効率化を図っております。

蒸気ボイラーのうち水素以外のガス由来のものにつきましては、伝熱効率の向上、こちら全て 6 機種、そのうちの半分の 3 機種につきましてエコマイザーを採用し、高効率化を図っているという状況になっております。

また、冷温水発生機につきましては、伝熱効率の向上及び冷凍サイクルの最適化による高効率化を図っているという状況になっております。

詳細につきましては、この後の申請説明資料にてご説明できればと考えております。

資料 1 の説明は以上です。よろしく申し上げます。

○森吉委員長 ありがとうございます。

それでは、次の議事に入らせていただきます。

議事 2 の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、非公開にさせていただきます。本日の審議では、水素燃料ボイラー、蒸気ボイラー及び冷温水発生機の 3 つに分け、検討できればと思います。

(認定審査のため非公開)

○森吉委員長 本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返しいたします。

○小熊課長代理 ありがとうございます。

続いて、事務局のほうから連絡事項を説明させていただきます。

○金子課長代理 2点ほどご連絡させていただきます。

1点目が、毎度のことなのですが、前回郵送した際に口座振替依頼書も入っていたかと思えます。また、電子データの入ったCD-Rが入っていたかと思えますので、こちらの口座振替依頼書と電子データの入ったCD-R、返信用のレターパックも同封しておりますので、こちらの準備ができましたら、事務局宛て、CD-Rと口座振替依頼書、2点ご返送いただければと思います。

もう一点なのですが、次回の認定委員会につきましては、大体3か月に1回ということで、2月から3月にかけて第5回の認定委員会を開催できればと考えております。日程につきましては、事務局から再度メールを送付させていただいて、日程を調整できればと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局からの連絡事項は以上になります。

○小熊課長代理 ありがとうございます。

それでは、これもちまして第4回認定委員会を終了させていただきたいと思えます。本日は長時間にわたりましてご議論をいただきまして、ありがとうございました。

(以上)